

平成26年1月29日  
東 京 大 学

## 平成28年度推薦入試について（予告）

本学では、学部教育の総合的改革の一環として、多様な学生構成の実現と学部教育の更なる活性化を目指し、平成28年度入学者選抜から、現在の後期日程試験に替えて推薦入試を導入することを決定し、その基本的な枠組みについては、平成25年3月に公表しているところです。

（平成25年3月15日「東京大学の学部入試方法の変更について」  
[http://www.u-tokyo.ac.jp/stu03/e01\\_25.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/stu03/e01_25.html)）

この度、本推薦入試について、平成28年度入学者選抜に係る出願資格や推薦要件、選抜方法等、制度の概要を別紙のとおり決定したので、お知らせいたします。

### 【お問い合わせ先】

本件に関するお問い合わせについては、下記メールアドレス宛にご連絡ください。お問合せの内容を取りまとめ、平成26年4月以降、回答を本学 Web サイト ([http://www.u-tokyo.ac.jp/index\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/index_j.html)) に掲載させていただきます。

本部入試課

メールアドレス： [nyuusi3@ml.adm.u-tokyo.ac.jp](mailto:nyuusi3@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)

# 平成28年度推薦入試について (予告)

※ この資料は、東京大学が実施する平成28年度推薦入試の概要を紹介するものです。  
出願に当たっては、平成27年7月頃公表する募集要項を必ず参照してください。

## 東京大学推薦入試のアドミッション・ポリシー

### 東京大学の使命と教育理念

1877年に創立された我が国最初の国立大学である東京大学は、国内外の様々な分野で指導的役割を果たしうる「世界的視野をもった市民的エリート」（東京大学憲章）を育成することが、社会から負託された自らの使命であると考えています。このような使命のもとで本学が目指すのは、自国の歴史や文化に深い理解を示すとともに、国際的な広い視野を持ち、高度な専門知識を基盤に、問題を発見し、解決する意欲と能力を備え、市民としての公共的な責任を引き受けながら、強靱な開拓者精神を発揮して、自ら考え、行動できる人材の育成です。

そのため、東京大学に入学する学生は、健全な倫理観と責任感、主体性と行動力を持っていることが期待され、前期課程における教養教育（リベラル・アーツ教育）から可能な限り多くを学び、広範で深い教養とさらに豊かな人間性を培うことが要求されます。この教養教育において、どの専門分野でも必要とされる基礎的な知識と学術的な方法が身につくとともに、自分の進むべき専門分野が何であるのかを見極める力が養われるはずで、本学のカリキュラムは、このように幅広く分厚い教養教育を基盤とし、その基盤と有機的に結びついた各学部・学科での多様な専門教育へと展開されており、そのいずれもが大学院や研究所などで行われている世界最先端の研究へとつながっています。

### 期待する学生像

東京大学は、このような教育理念に共鳴し、強い意欲を持って学ぼうとする志の高い皆さんを、日本のみならず世界の各地から積極的に受け入れたいと考えています。東京大学が求めているのは、本学の教育研究環境を積極的に最大限活用して、自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していこうとする意志を持った学生です。何よりもまず大切なのは、上に述べたような本学の使命や教育理念への共感と、本学における学びに対する旺盛な興味や関心、そして、その学びを通じた人間的成長への強い意欲です。そうした意味で、入学試験の得点だけを意識した、視野の狭い受験勉強のみに意を注ぐ人よりも、学校の授業の内外で、自らの興味・関心を生かして幅広く学び、その過程で見出されるに違いない諸問題を関連づける広い視野、あるいは自らの問題意識を掘り下げて追究するための深い洞察力を真剣に獲得しようとする人を東京大学は歓迎します。

### 推薦入試の基本方針

東京大学の推薦入試は、学部学生の多様性を促進し、それによって学部教育の更なる活性化を図ることに主眼を置いて実施します。実施に当たっては、日本の中等教育における先進的取組を積極的に評価し、高等学校等の生徒の潜在的な多様性を掘り起こすという観点から、日本の高等学校等との連携を重視します。

推薦入試による選抜に当たっては、本学の総合的な教育課程に適応しうる学力を有しつつ、本学で教育・研究が行われている特定の分野や活動に関する卓越した能力、もしくは極めて強い関心や学ぶ意欲を持つ志願者を求めます。東京大学は、推薦入試で入学した学生が、東京大学、ひいてはグローバル社会の活力の源として活躍することを期待しています。

## 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者としてします。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者

## 2. 募集人員

平成28年度推薦入試において、入学を許可する学生の募集人員は、100人です。

なお、各学部等の大まかな募集人員は、以下のとおりです。また、合格者が募集人員に満たない場合には、原則として、残余の募集人員は前期日程試験の募集人員に繰り入れられます。

|      |       |                          |       |
|------|-------|--------------------------|-------|
| 法学部  | 10人程度 | 経済学部                     | 10人程度 |
| 文学部  | 10人程度 | 教育学部                     | 5人程度  |
| 教養学部 | 5人程度  | 工学部                      | 30人程度 |
| 理学部  | 10人程度 | 農学部                      | 10人程度 |
| 薬学部  | 5人程度  |                          |       |
| 医学部  | 5人程度  | (うち、医学科3人程度、健康総合科学科2人程度) |       |

## 3. 推薦要件等

学校長が本学に推薦できる人数は、以下の要件のすべてに該当する男女各1人、合計2人までとします。なお、同一の志願者を複数の学部推薦することはできません。

※男女いずれかのみしか在籍しない学校においては、推薦できる人数は1人となります。

- 別添の学部ごとに定める推薦要件に該当し、当該学部の学問分野に対する強い関心及びこれを本学で学ぶ積極的な意欲を持ち、学校長が責任をもって推薦できる者
- 合格した場合、必ず入学することを確約できる者
- 平成28年度大学入試センター試験のうち、本学が定める教科・科目のすべてを受験する者

## 4. 入学者選抜方法

合否判定は、出願書類の内容、面接等の審査結果及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価して行います。

- ① 出願書類の内容により第1次選考を行い、第1次選考合格者に対して学部ごとに面接等の第2次選考を実施します。面接等の実施方法の詳細については、別添を参照してください。
- ② 出願書類の内容と面接等の審査結果及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価した上で、最終合格者を決定します。

大学入試センター試験は、入学後の学修を円滑に行い得る基礎学力を有しているかどうかを判断する観点から、概ね8割以上の得点であることを目安とします。

## 5. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は、平成28年度大学入試センター試験のうち、志望する学部が指定する教科・科目のすべてを受験してください。指定された教科・科目を1つでも受験していない場合は、合格者にはなりません。また、教育学部及び教養学部については、以下(1)、(2)のいずれで受験をしても構いません。

### (1) 法学部、経済学部、文学部、教育学部、教養学部

(5教科8科目又は6教科8科目)

| 教科   | 科目   | 科目選択の方法  |
|------|--|--|
| 国語   | 『国語』   | 必須   |
| 地理歴史 | 「世界史B」<br>「日本史B」<br>「地理B」                                    | 左の4科目のうちから2科目を選択   |
| 公民   | 『倫理、政治・経済』   |  |
| 数学   | 『数学Ⅰ・数学A』  | 必須   |
|      | 『数学Ⅱ・数学B』<br><br>『簿記・会計』<br>『情報関係基礎』                         | 左の3科目のうちから1科目を選択<br>ただし、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した(見込み)者だけです。                |
| 理科   | 「物理基礎」(「物理」)<br>「化学基礎」(「化学」)<br>「生物基礎」(「生物」)<br>「地学基礎」(「地学」) | 左の基礎を付した4科目のうちから2科目を選択<br>ただし、「基礎を付していない科目」を2科目選択した場合には、「基礎を付した科目」を選択したものとみなします。                       |
| 外国語  | 『英語』<br>『ドイツ語』<br>『フランス語』<br>『中国語』<br>『韓国語』                  | 左の5科目のうちから1科目を選択<br>なお、『英語』についてはリスニングの成績を含むものとし、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点(250点満点)を200点満点に換算して利用します。 |

(2) 工学部、理学部、農学部、薬学部、医学部、教育学部、教養学部

(5教科7科目)

| 教科   | 科目  | 科目選択の方法  |
|------|---|--|
| 国語   | 『国語』  | 必須   |
| 地理歴史 | 「世界史 B」<br>「日本史 B」<br>「地理 B」                | 左の4科目のうちから1科目を選択   |
| 公民   | 『倫理、政治・経済』                                  |  |
| 数学   | 『数学 I・数学 A』                                 | 必須   |
|      | 『数学 II・数学 B』<br><br>『簿記・会計』<br>『情報関係基礎』     | 左の3科目のうちから1科目を選択<br>ただし、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した（見込み）者だけです。                |
| 理科   | 「物理」<br>「化学」<br>「生物」<br>「地学」                | 左の4科目うちから2科目を選択  |
| 外国語  | 『英語』<br>『ドイツ語』<br>『フランス語』<br>『中国語』<br>『韓国語』 | 左の5科目のうちから1科目を選択<br>なお、『英語』についてはリスニングの成績を含むものとし、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算して利用します。 |

## 6. 提出書類

出願に当たっては、以下の書類を取りまとめ、学校長から提出していただくことを予定しています。なお、各書類において求める志願者の学習成果等については、原則として、高等学校等在学中のものとしします。

- ・ 入学志願票
- ・ 調査書（文部科学省が「大学入学者選抜実施要項」で定めるもの）
- ・ 志願理由書（各学部の指定する様式による）
- ・ 学校長からの推薦書（各学部の指定する様式による）
- ・ 学習状況調査票（各学部の指定する様式による）
- ・ その他、各学部が求める書類

## 7. 入学後の学修

推薦入試による入学者は、入学後、文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類・理科三類の6つの科類のうち、志望学部が個別に指定する科類に分かれ、教養学部所属して前期課程の学修を行います。前期課程修了後は、出願時に志望した学部等へ進学します。

前期課程においては、推薦入試による入学者について、学生の志望分野に対する関心や学ぶ意欲にきめ細かく応えることが可能となるよう、早期に専門教育に触れる機会の提供や、学修について個別に助言・支援する教員の配置などの措置を講じます。

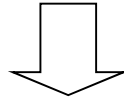
### 【各学部が主に対応する科類】

|            |     |                         |
|------------|-----|-------------------------|
| 法学部        | ・・・ | 文科一類                    |
| 経済学部       | ・・・ | 文科二類                    |
| 文学部        | ・・・ | 文科三類                    |
| 教育学部       | ・・・ | 文科三類又は理科一・二類            |
| 教養学部       | ・・・ | 文科三類又は文科一・二類、理科一類又は理科二類 |
| 工学部        | ・・・ | 理科一類又は理科二類              |
| 理学部        | ・・・ | 理科一類又は理科二類              |
| 農学部        | ・・・ | 理科二類又は理科一類              |
| 薬学部        | ・・・ | 理科二類又は理科一類              |
| 医学部医学科     | ・・・ | 理科三類                    |
| 医学部健康総合科学科 | ・・・ | 理科二類                    |

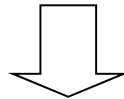
## 平成28年度推薦入試の流れ（予定）

平成27年

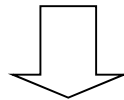
7月 入学者選抜要項、募集要項の公表



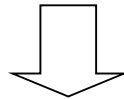
11月上旬 入学願書受付（1週間程度）



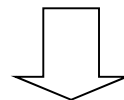
11月中旬 書類審査の実施



11月下旬 第1次選考合格者の発表

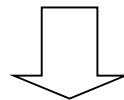


12月中旬 面接等の実施



平成28年

1月 大学入試センター試験



2月 最終合格者の発表



## 各学部の推薦要件・面接方法等の概要

|                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 学部名                                | 法学部   |
| 募集人員                               | 10人程度   |
| 求める学生像                             | 現代社会、とりわけグローバルな場でリーダーシップを発揮する素質を持つ学生。すなわち、優れた基礎的学力を備えるとともに、現代社会のかかえる諸問題に強い関心を持ち、実社会の様々な事象から解決すべき課題を設定する能力、さらには他者との対話を通じて、その課題の解決に主体的に貢献する能力を有する学生。  |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の履修上の措置 | <p>グローバルな場で活躍するために基礎となる幅広い視野をそなえ、法的思考と政治学的識見の基礎を身に付けた人材の養成をめざす教育を行います。</p> <p>本入試で入学した学生に対しては、学生の関心に応じて発展的内容の学習を可能にするため、前期課程において法学部専門科目の受講を許可し、後期課程において大学院（法学政治学研究科）の授業科目の受講を許可します。また、履修について個別的に助言・支援する教員を配置します。</p>  |
| 推薦要件                               | <p>以下のすべてに該当する者とします。</p> <p>(1) 学業成績に秀でていること。（各校の上位概ね5%以内）</p> <p>(2) 現実の中から本質的な問題を発見し、独創的な形で課題を設定する能力を有すること。</p> <p>(3) 問題の解決に向けてイニシアティブを発揮できること。</p> <p>(4) 異なる文化的背景や価値観を有する他者とのコミュニケーション能力に優れていること。</p>  |
| 学部が求める書類等                          | <p>各学部共通に求める調査書等のほか、志願者が本学部の推薦要件に合致することを具体的に証明する資料。例えば、</p> <p>(1) 在学中に執筆した論文で、志願者の問題発見能力・課題設定能力を証明するもの</p> <p>(2) 社会に貢献する活動の内容を具体的に証明する資料（表彰状、新聞記事等）</p> <p>(3) 留学経験など、志願者が異なる文化的背景や価値観への理解を有することを示す資料（留学の事実を証明する資料、外国人との交流や支援活動を行ったことを示す第三者の推薦状など）</p> <p>(4) 国際通用性のある入学資格試験における優秀な成績を証明する資料（国際バカロレア、SAT など）</p> <p>(5) 外国語に関する語学力の証明書（TOEFL、英検、IELTS、TestDaF、DALF、HSK など）</p> <p>などです。</p> |
| 面接等の方法                             | グループ・ディスカッション及び個別面接を行います。   |

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 学部名                            | 経済学部   |
| 募集人員                           | 10人程度  |
| 求める学生像                         | いずれかの分野において卓越した能力を有し、その才能を生かして全く新しいビジネスまたは社会の枠組みを創造しようとする高い志を持つ学生。   |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | 個の才能を生かすために必要な、経済社会の複雑な諸現象を体系的に理解する能力を養成します。前期課程において、必要に応じて学部教員による相談や本郷での講義・演習の受講を許可します。   |
| 推薦要件                           | 以下のすべてに該当する者とします。<br>(1)いずれかの分野で高等学校等の生徒として飛びぬけた才能を有すること。(必ずしも学術分野に限らないが、上の「求める学生像」にふさわしい能力であること)<br>(2)他者との対話性に優れ、経済分野に強い関心を有すること。<br>(3)高等学校等において英語、数学、地理歴史・公民のうちいずれかの2教科において成績が優秀であること。(地理歴史・公民はいずれかの1科目のみを対象とする。)  |
| 学部が求める書類等                      | 各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件の(1)に該当すると判断できる客観的根拠を示す書類の提出を求めます。例えば、<br>(1)数学オリンピックなどの科学オリンピックで顕著な成績をあげたことを示すもの<br>(2)英語その他の外国語に関する語学力の試験（TOEFL、英検、IELTS、TestDaF、DALF、HSK など）において高得点を取ったこと示すもの<br>(3)全国レベルの大会・コンクールでの入賞記録<br>(4)留学を含む様々な国際的活動で、その内容が第三者によって高く評価されたものについて、その詳細や評価内容を記した文書（新聞記事など）<br>などです。<br>※上記(1)～(4)の書類と併せて、本人が執筆した特に優れた論説や論文などを添付することも可能です。 |
| 面接等の方法                         | 個別面接を行います。   |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 学部名                            | 文学部   |
| 募集人員                           | 10人程度   |
| 求める学生像                         | 人間のさまざまな精神的営み（言語・文学・思想・芸術等）や、人間の織りなす社会の歴史と現代の諸問題に関する探究心に富み、自らの考えたことを口頭発表や論文などを通して他者に伝える能力を有し、将来、社会的な貢献が期待できる学生。   |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | 入学当初の高い勉学意欲と人間・社会に対する関心を維持し、より高度な専門的知識に裏付けられた研究へとつなげるために、適切な導入教育と面談指導を行うとともに、前期課程から必要に応じて文学部の講義・演習の受講を認めます。   |
| 推薦要件                           | 以下のすべてに該当する者としします。<br>(1) 学業成績に秀でていること。<br>(2) 人文社会系諸学に関連する分野において、卓越した能力を有することを示す実績があること、あるいは課外活動やボランティアなどの社会貢献活動において、何らかの賞を受けるなど優れた成果をあげたこと。   |
| 学部が求める書類等                      | 各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す書類の提出を求めます。例えば、<br>(1) 在学中に執筆した論文・発表資料または「総合的な学習の時間」による成果<br>(2) 外国語に関する語学力の証明書（TOEFL、英検、IELTS、TestDaF、DALF、HSK など）<br>(3) 何らかの賞を受けた場合は、それを証明する資料<br>(4) 課外活動、ボランティアなどの社会貢献活動での成果を示す資料<br>などです。 |
| 面接等の方法                         | 面接は、志願者が自らの学習・研究活動または社会貢献活動の内容に関して10分程度のプレゼンテーションを行い、それについて、面接教員との質疑応答を行います。あわせて小論文を課します。   |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 学部名                            | 教育学部  |
| 募集人員                           | 5人程度  |
| 求める学生像                         | 自ら設定した課題を探究する卓越した資質・能力を有する学生。これまでに取り組んだ探究学習は特に教育分野に限定しないが、なぜ教育学部を志望するのかについて明確な考えをもっていることを求めます。  |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | 発達・教育に関する諸現象についての理解を深め、研究する能力を身に付けるため、前期課程から、教育学部教員が開講する一般教養科目および専門科目を優先的に受講できるものとします。また、履修について個別に助言・支援するアドバイザー教員を配置します。  |
| 推薦要件                           | 以下(1)、(2)ともに該当する者としてします。<br>(1) 本学のカリキュラム修得に必要な、教科の基礎学力があること。<br>(2) 探究学習の卓越した実績・能力を、論文、作品、発表等を通じて示すことができること。   |
| 学部が求める書類等                      | 各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当することを示す客観的根拠となる以下の書類の提出を求めます。<br>(1) 在学中に作成した論文、作品、発表の内容を示す資料等で、志願者の卓越した探究能力を示すもの。<br>(2) 上記(1)に関して、国際的もしくは全国的なコンクールやコンテストでの受賞歴、あるいは、学会の高校生セッション等での発表経験などがあれば、それを証明する資料を添付してください。その他、参考資料として、探求能力もしくは教育への意欲・関心を示すような資料があれば添付してください。 |
| 面接等の方法                         | 個別に面接（発表や課題遂行を含む）を行い、総合的に審査します。   |

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 学部名                            | 教養学部   |
| 募集人員                           | 5人程度   |
| 求める学生像                         | 文系理系にかかわらず、複数の学問分野を横断する関心や新しい分野に挑戦する意欲をもち、将来にわたって、グローバル時代における諸問題の解決を目指す高い志をもつ学生。   |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | <p>多様な世界への好奇心を絶やさず、グローバル化が進む現代の諸課題に取り組む能力をそなえた学生を育成します。</p> <p>(1) 1年次からの外国留学を奨励し、さまざまな支援を行ないます。</p> <p>(2) 教養学部後期課程の科目について、教員の助言に基づいて、前期課程での早期受講を認めます。</p> <p>(3) 履修について助言・支援する教員を、入学者の志望分野に合わせて個別に配置します。</p>   |
| 推薦要件                           | <p>以下のすべてに該当する者としします。</p> <p>(1) 自ら課題を発見して探究する卓越した能力をもつ者。</p> <p>(2) 2つ以上の科目（志望分野に関連する科目を含む）で卓越した能力をもつ者。</p> <p>(3) すぐれた外国語能力を有する、もしくは国際的なプログラムや活動について経験や関心を有する者。</p>  |
| 学部が求める書類等                      | <p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠として、以下のいずれかの書類（複数可）の提出を求めます。</p> <p>(1) 在学中に執筆した課題論文等</p> <p>(2) 科学オリンピックなど志望分野にかかわる各種コンテストの成績</p> <p>(3) 外国語に関する語学力の証明書（TOEFL、英検、IELTS、TestDaF、DALF、HSK など）</p> <p>(4) 国際通用性のある入学資格試験の成績を証明する資料（国際バカロレア、SAT など）</p> <p>(5) その他、特筆すべき活動の成果</p> |
| 面接等の方法                         | 面接による審査を行います。また、必要に応じて、外国語（英・独・仏・中・韓・露・西・伊）の面接を含むことがあります。  |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 学部名                            | 工学部   |
| 募集人員                           | 30人程度   |
| 求める学生像                         | <p>社会の多様な問題を科学的なアプローチで解決することに興味を持ち、</p> <p>(1)自ら問題設定を行い、柔軟な思考ができる能力</p> <p>(2)興味を持つ分野の学習のみならず、問題解決に関連する幅広い分野の学習を自律的に行うことができる能力</p> <p>(3)異なる思考様式や文化的背景を持つ人々とのコミュニケーション能力</p> <p>を有し、専門知識を駆使して、社会の様々な課題の解決に主体的に貢献することが期待できる素質を有する学生。</p>   |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | <p>東京大学工学部は、豊かな教養、国際性、科学技術に対する体系的な知識を身につけ、研究、開発、設計、生産、計画、経営、政策提案等において、工学的手法を活用して人類社会の持続と発展に貢献できる指導的人材を養成することを目的としています。</p> <p>前期課程においては、学生の志望分野につながる5つ程度の学習領域*1から1領域を選択して、基礎的学習を行います。大学での学習を通じて工学の多様性を俯瞰し、自らが志望する分野の概要とこれを学ぶ意義を深く理解し、必要となる基礎学力を身につけることができるよう、領域ごとに学習について個別に助言・支援する教員を配置します。また後期課程ならびに大学院につながる、工学専門教育を早期に受ける機会を設けます。</p> <p>*1 学習領域の例</p> <p>(1)情報 数学 システム、</p> <p>(2)電気 機械 物理、</p> <p>(3)物理 材料、</p> <p>(4)化学 生物 材料、</p> <p>(5)建築 社会技術</p> |
| 推薦要件                           | <p>高等学校等の学習内容について十分な基礎学力を有しており、以下に示す資質を有することを示す、あるいはこのような資質の涵養に資する特色ある活動*2を経験している者とします。</p> <p>(1)自ら問題設定を行い、かつ柔軟な思考ができること</p> <p>(2)社会の多様な問題に対して関心をもち、それを科学的なアプローチで解決することに興味を持つこと</p> <p>(3)問題意識に基づき、専門分野の学習のみならず、問題解決に関連する幅広い分野の学習を自律的に行えること</p> <p>(4)異なる思考様式や文化的背景を持つ人々と協力して作業を行うことができる、外国語能力を含めた総合的なコミュニケーション能力を有すること</p>   |

|           |  |
|-----------|--|
|           | <p>*2 活動の例</p> <p>在学中に志願者が主導的な役割を果たしたことにより顕著な成果を挙げた活動（社会問題解決に取り組んだ社会貢献活動・国際的活動、部活動等）、全国レベルの大会・コンクールでの入賞につながった活動、特色ある高度な研究活動・創造活動、顕著な成績をあげた数学・物理・化学・生物オリンピックなどでの活動等</p>   |
| 学部が求める書類等 | <p>各学部共通に求める調査書等のほか、志願者が本学部の推薦基準に合致することを具体的に証明する以下すべての資料</p> <p>(1) 志願者が高等学校等在学中に行った特色ある活動の詳細をよく知る人物（高等学校等の内外を問わない）による推薦書</p> <p>(2) あらかじめ工学部が提示する特定の課題に対する小論文</p> <p>(3) 高等学校等在学中に行った自らの特色ある活動でどのような問題設定と解決を行ったか、その活動を通じていかなる自律的学習を行ったか、また将来的にどのように社会に貢献したいと考えているかを説明し、あわせて志望動機を述べた文章</p> <p>(4) 高等学校等在学中に行った活動が上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す書類とその活動内容を説明する資料</p> <p>※英語に関する語学力の証明書（TOEFL、英検、IELTS など）があれば添付してください。</p> |
| 面接等の方法    | <p>提出書類の内容の妥当性、コミュニケーション能力等を面接等により評価します。</p>   |

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 学部名                            | 理学部  |
| 募集人員                           | 10人程度  |
| 求める学生像                         | 自然科学において卓越した能力を有する学生を求めます。   |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | <p>自然科学への関心と知的冒険心を育み、未知の問題に対する解決の知恵と手段を体得して人類社会の持続的・平和的發展に貢献できる、創造力と表現力を備えたグローバルリーダーを育成します。</p> <p>推薦入試入学者向けに各学科の教員が専門科目の早期学習や研究分野選択に向けた個別指導を行います。また早期から希望研究室で最先端研究の現場に参加できる機会として、学部前期課程に研究室実習制度を設けます。</p> <p>学部前期課程2年次には、理学部が学内で開催する国際プログラムへの参加を認めます。また後期課程では国際派遣プログラムに優先枠を設けるなど、国際体験を奨励します。</p>        |
| 推薦要件                           | <p>自然科学に強い関心を持ち、自然科学の一つもしくは複数の分野において、卓越した能力を有することを示す明確な実績があること。(実績の例：科学オリンピック(数学、物理、化学、生物学、地学、情報)、高校生科学技術チャレンジ、日本学生科学賞など、国内外で開催された各種コンテストの上位入賞者、商品レベルのソフトウェア開発経験者など)</p> <p>国際活動、社会貢献活動、芸術・文化、スポーツなどでの意欲的な活動やリーダーシップを発揮した実績も評価に加味します。(実績の例：在任中に顕著な活動を行った生徒会会長、全国大会レベルでの入賞を果たした部やクラブで主導的な役割を果たしたものなど)</p> |
| 学部が求める書類等                      | <p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す書類のうち、少なくとも1つ(複数提出可)の提出を求めます。(例えば、表彰状/認定証のコピー、受賞論文、開発したソフトウェアの概要資料など)</p> <p>※英語に関する語学力の証明書(TOEFL、英検、IELTSなど)があれば添付してください。</p>  |
| 面接等の方法                         | 個別面接を行います。各学科で要求される基礎学力や思考力、コミュニケーション能力を問います。  |



|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 学部名                            | 農学部  |
| 募集人員                           | 10人程度  |
| 求める学生像                         | 動物・植物・微生物がもつ多様な機能に興味をもち、それらを深く究明し、さらにそれらを応用して社会に役立てたいという強い意欲を有する学生。すなわち、自ら主体的に学ぶ姿勢をもち、生命に対する理解をもとに、食料・生物資源・生態系等に関わる諸問題の解決にグローバルな視点から貢献しようとする学生。  |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | <p>農学を構成する基礎・応用諸科学に関する専門教育を段階的・体系的に行い、農学に課せられた諸問題の解決に必要な高度の専門知識と幅広い視野を有し、社会の要請に応えることのできる人材を育成することを目的とします。</p> <p>前期課程においては農学部の附属施設等を利用した早期実践教育プログラムを提供し、後期課程においては大学院授業科目の受講を可能とします。加えて、学修について個別に助言する教員を配置し、前期課程・後期課程を通して一貫した教育支援を行ないます。</p>                              |
| 推薦要件                           | <p>以下のすべてに該当する者とします。</p> <p>(1) 高い基礎学力を有する成績上位者であること。</p> <p>(2) 生物学あるいは農学に関連する特記すべき推薦事由を有すること。</p> <p>(3) 高等学校等において「生物」を履修していること。</p>   |
| 学部が求める書類等                      | <p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す以下の書類のうち、少なくとも1つ（複数提出可）の提出を求めます。なお、提出に当たっては、その概要の説明書を求めます。</p> <p>(1) 生物学に関する研究成果あるいは論文</p> <p>(2) 生物学や農学に関連する活動実績等の資料</p> <p>(3) 日本生物学オリンピック、国際生物学オリンピック参加者はその成績</p> <p>※英語に関する語学力の証明書（TOEFL、英検、IELTS など）があれば添付してください。</p> |
| 面接等の方法                         | <p>提出書類の内容の妥当性、コミュニケーション能力等を面接により評価します。</p> <p>面接の一部として、課題を設定して生物学の能力を評価します。</p>   |

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 学部名                            | 薬学部  |
| 募集人員                           | 5人程度   |
| 求める学生像                         | 最先端の薬学研究を将来大学院で学び、国際的研究者となる意思のある人材、薬剤師として医療高度化を推進する意思のある人材を求めます。   |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | <p>化学・生物・物理・医療を含む幅広い薬学分野におけるキャリアの方向性を早期に明確化させるために、以下のプログラムを受講させます。</p> <p>(1) 薬学部の研究室において、前期課程から3年次の夏季休業期間での1ヶ月程度の実習を受講します。</p> <p>(2) 4年次に、大学院の授業の受講を認めます。</p>  |
| 推薦要件                           | <p>以下のすべてに該当する者としてします。</p> <p>(1) 学業成績に秀でていること。</p> <p>(2) 優れた科学能力と英語力を有すること。</p> <p>(3) 自発的に目的を設定して学ぶ能力を有すること。</p> <p>(4) 自分の考えが論理的に伝えられるコミュニケーション能力・文章構成能力に優れていること。</p>  |
| 学部が求める書類等                      | <p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す以下の書類のうち、少なくとも1つ（複数提出可）の提出を求めます。</p> <p>(1) 科学オリンピックなど各種コンテストにおいて顕著な成績を挙げたことを証明する書類</p> <p>(2) TOEFL iBT 100点以上もしくはIELTS 7点以上などに相当する高い英語力を証明する書類</p> <p>(3) 留学経験を証明する資料および、それを今後の国際的な活躍にどのように活かすかを志願者が説明する文章</p> <p>(4) 科学に関連する、学会・研究会での発表を証明する資料、もしくは作成した論文</p> <p>※上記(1)～(4)の書類の他、課外活動で科学分野以外に特筆すべき成果を示す資料(芸術、運動、ボランティアなど)を添付することも可能です。</p> |
| 面接等の方法                         | 個別面接を行います。   |

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 学部名・学科名                        | 医学部医学科   |
| 募集人員                           | 3人程度   |
| 求める学生像                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命現象のしくみの解明、疾病の克服および健康の増進に寄与する医学研究を推進するため、推薦入試枠を医学研究者養成枠と位置づけ、最先端の医学・生命科学研究を担う国際的研究者を育成するために活用します。</li> <li>・そのために、未知の生命現象の発見や革新的な医療につながる研究を長期的な視野のもとに実行する意欲と能力を持つ学生を受け入れ、サマープログラム等を活用した研究体験、学部進学後のPhD-MDコース(医学部在学中の大学院進学制度)への参加などを通じてリサーチマインドと研究能力を育成します。</li> <li>・また医学を学ぶにあたってはバランスのとれた人格と高い基礎学力が要求されるため、これらの点で基準を満たす学生を選抜します。</li> </ul>   |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | <p>在学中に生命現象のしくみの解明、疾病の克服および健康の増進に寄与する医学研究について幅広い知識と経験を身に付け、卒業後は最先端の医学・生命科学研究を担う国際的研究者へと発展する人材を育成します。</p> <p>1. 教養学部前期課程在籍時：<br/>以下の教育プログラムを提供します。</p> <p>(1) 医学部が駒場キャンパスで提供する「メディカルバイオロジー入門コース」などの講義への参加。</p> <p>(2) 本郷キャンパスにおける分子細胞生物学の教科書を利用した少人数教育への参加。</p> <p>(3) 夏季休業期間等を利用した医学部研究室での実習。</p> <p>2. 医学部医学科進学後：<br/>以下の(1)のカリキュラムに3年生、4年生として参加し、その後に(2)のカリキュラムに参加することを原則とします。</p> <p>(1) MD 研究者育成プログラム：2007年より開始した研究志向の学生を対象とした教育プログラム。通常医学科カリキュラムと並行して研究室での実験を行い、研究マインドを養成することを目的とします。海外短期留学、研究に必要な英語トレーニングなども実施。他大学との学生交流のための行事を開催。</p> <p>(2) PhD-MD コース：医学部在学中に大学院に進学し、学位取得後に医学部に戻るコース。早期に本格的な研究体験を積むことを目的とします。本コース在学中は奨学金を支給します。</p> |
| 推薦要件                           | <p>以下のすべてに該当する者とします。</p> <p>(1) 高い基礎学力とバランスのとれた人格を持つこと。</p> <p>(2) 生命科学・医学研究への意欲と能力を持つこと。</p> <p>(3) 医学部進学後に研究者養成のための特別カリキュラムへの参加を望むこと。</p>  |

|           |   |
|-----------|---|
|           | (4) 自然科学の領域においてきわめて高い能力を持つこと、あるいは非常に優れた語学力(英語力)とそれに伴う豊富な国際経験を持つこと。  |
| 学部が求める書類等 | <p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す以下の書類のうち、いずれか1つ(複数提出可)の提出を求めます。</p> <p>(1) 日本生物学オリンピック、国際生物学オリンピック、高校生科学技術チャレンジ、Intel International Science and Engineering Fair (Intel ISEF)、全国物理コンテスト、国際物理オリンピック、全国高等学校化学グランプリ、国際化学オリンピックなど各種コンテストにおいて顕著な成績を挙げたことを証明する書類</p> <p>(2) きわめて高い語学力(英語力として TOEFL iBT 100 点以上、IELTS 7 点以上相当) 及び豊富な国際経験を示す書類</p> |
| 面接等の方法    | <p>高等学校等からの推薦書類に記載された能力や経験を確認するためのプレゼンテーションを行います。その内容及び能力の確認のための質疑応答などを行い、適性を判断します。</p> <p>在学中には通常の医学科カリキュラムに加えて研究者育成のための特別プログラムに参加し、学業と研究活動を両立させる必要があります。この観点から、学力を判断するための大学入試センター試験の基準点は医学部医学科の場合には780点程度とします。</p>  |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 学部名・学科名                        | 医学部健康総合科学科  |
| 募集人員                           | 2人程度  |
| 求める学生像                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の健康をさまざまな分析法で探求する「ヘルスサイエンス」の研究チームにおけるグローバルリーダーを育成するために、推薦入試枠を活用します。</li> <li>・科学的・分析的思考能力に加え、統合力、マネジメント力、コーディネート力、発信力を持つ人材を育成します。</li> <li>・そのために、人間を敬いいのちを尊ぶバランスのとれた人格で、健康関連事象に対する探究心をもつ学生を求めます。</li> </ul>   |
| 推薦入試入学者に対するカリキュラム・ポリシー及び入学後の措置 | <p>医療保健分野におけるグローバルリーダーとなる人材を育成します。特に推薦入試入学者の個性的な知的探究心や行動力を伸ばすよう配慮するとともに、健康を守り高めるための生物的・社会的諸原則を理解し、各種施策を開発する能力、保健・看護サービスを提供する能力を育成します。</p> <p>1. 教養学部前期課程在籍時</p> <p>(1) 理科二類に在籍し、一般学生と同様の科目を履修するとともに、健康総合科学科が駒場で開講している科目「生きることを支える科学—看護学の最先端」「ヘルスサイエンスへの招待」などへ参加します。</p> <p>(2) 特例として、1年次より学科の教員（チューター）に、補習等に関する相談ができます。</p> <p>(3) 夏季休業・秋季休業期間等を利用して研究室訪問・実習を行います。</p> <p>2. 健康総合科学科進学後</p> <p>(1) 長期休業を利用した、国内外におけるボランティア活動（医学部附属病院・介護老人保健施設など）、または、厚生労働省などのインターンシップに参加し、教員から助言を受けることができます。</p> <p>(2) 関連領域を含めた大学院のプログラム（グローバルヘルスなど）に参加できます。</p> <p>(3) 研究室が行っている研究課題に、3年次より参加できます。</p> <p>(4) 当該学生が秀でている領域で、講義（シリーズ）を計画・実施できます。</p> <p>(5) 卒業論文の作成・発表のみならず、学会に参加・発表を経験できます。</p> |
| 推薦要件                           | <p>以下のすべてに該当する者とします。</p> <p>(1) バランスのとれた人格であること。</p> <p>(2) きわめて高い基礎学力を有すること。</p> <p>(3) グローバルにコミュニケーションできる語学力（英語力）をもつこと。</p>   |

|           |  |
|-----------|--|
|           | <p>(4) チャレンジ精神に富み、忍耐力、柔軟性をもち、自己を高めることのできる精神力をもつこと。</p> <p>(5) 自然科学領域におけるきわめて高い能力および科学的探究心をもつこと。</p> <p>(6) チームの調整力があり、リーダーシップをもつこと。</p>  |
| 学部が求める書類等 | <p>各学部共通に求める調査書等のほか、上記推薦要件に該当すると判断できる客観的根拠を示す以下の書類のうち、いずれか1つ（複数提出可）の提出を求めます。</p> <p>(1) きわめて高い語学力を示す書類（英語力として TOEFL iBT 100 点以上、IELTS 7 点以上相当）</p> <p>(2) 高いチャレンジ精神を示す課外活動体験についての書類（数か月以上の国際ボランティアなど）</p> <p>(3) 日本生物学オリンピック、国際生物学オリンピックなど各種コンテストにおいて顕著な成績を挙げたことを証明する書類</p> <p>(4) 高いリーダーシップ、チームの調整力を示す組織のリーダー的役割（生徒会長、文化祭運営委員長など）の経験を証明する書類</p> |
| 面接等の方法    | <p>高等学校等からの推薦書類に記載された能力や経験を確認するためのプレゼンテーションを行います。その内容および能力の確認のための質疑応答などを行い、適性を判断します。</p>   |